

本製品で初めてバス施工を行う方へパイロキープとバスピュアコートの特徴と施工要領

① パイロキープ TS2000 (主剤 7/硬化剤 3 割合の 2 液性) 作業難易度：中級～上級 (泡嚙みの為、ローラー作業が不可等の理由で中級～上級者用とさせていただきます) 多くの業者様を中心に吹付け、手刷毛塗りで使用頂いております。

バスタブ塗装の 1 回の塗り量は 400 g 程度ですので計量器で主剤 280 g、硬化剤 120 g、シンナー 40 g 程度 (調整要) を小分け混合し、1 分間程度攪拌してから塗装に移って下さい。

特徴：(チタン酸カリウムウイスキー配合 2 液型アクリル変性シリコン塗料)

長所：鉛筆硬度 2H 程度の硬度を持ちつつ柔軟性も持ちこれが長期間継続します。

→これにより多くの素地に対し適応出来る密着性を有し、長期の耐久性、耐剥がれ性があります。

ステンレスのタワミ、タイルや磁器タイル素地、塩ビシート・塩ビ鋼板素地にも対応します。

シリコン樹脂リッチの厚膜塗料です。

→これにより大変艶感に優れホーローのような質感があります。

→硬化後はラッカーシンナー等の強溶剤にも侵されにくい耐薬品性があります。

→他の樹脂と比較して高耐熱性が高いです。

→速乾性では無い為、レベリング性が高く刷毛目残り、吹き付け作業でのカブリ等が出にくいです。

→塗装間隔によるチヂミの発生リスクが無くタックの残っている状態での追っかけ塗り等、

特に吹き付け作業ではインターバルフリーです。

吹き付け塗装での作業性に優れ低圧温風塗装機との相性も良好です。

短所：シリコン樹脂リッチの塗料です。

→反応硬化の特徴が強く、硬化速度・タック切れに時間を要する為、硬化後のペーパー掛け・

ポリッシャー研磨等が常乾では 6 時間以上～翌日となる作業性の悪さがあります。

作業を急ぐ場合は硬化促進剤 (1%～2%) を添加するケースがあります。

→反応シリコンブツ・速乾性では無い為の埃拾いがあります。

板金塗装で行われている塗装前の濾紙通しのフィルター作業や吹き付け塗装では軽減されますが、仕上げ後のポリッシャー処理が必要となる場合があります。

ポリッシャー、バフ掛け作業軽減の為、弊社の請負工事ではクリアー仕上げとしています。

→特に寒冷期では硬化促進の為、硬化促進剤 (2%程度) を添加する場合があります。

→**※ローラー作業は泡嚙みします。避けて下さい。**

→チヂミの発生が無くインターバルフリーである。特筆の艶感がある。硬化促進剤の使用慣れ、使い慣れて塗料の癖が解れば肌も安定してとても作業性良い塗料ですが DIY での難易度は高目です。

**※強溶剤型塗料の為、防毒・臭気・火器に対する安全管理が必要となります。**

吹付け施工を中心に行われる業者様の場合は、巧に硬化促進剤 (2%程度添加) も使用されます。

パイロキープのインターバルフリーの特徴を生かし、下記の流れで作業されております。

(ポリエステルバスの吹付け施工)

※ホーローバスの場合はパテ処理やベースコート工程が増えますので最短 2 日間作業となります。

養生・研磨 (足付け)・脱脂作業

↓

パイロキープ TS2000 (硬化促進剤 2%添加) 吹付け

↓ 1~2 時間で指触乾燥 (半硬化) した状態で

パイロキープ TS2000 (硬化促進剤 2%添加) 吹付け

↓ 1~2 時間で指触乾燥 (半硬化) した状態で

パイロキープ TS2000 クリアー (硬化促進剤 2%添加) 吹付け (ポリッシング省略)

↓ ※標準仕様にはクリアーは入っていません。任意仕様です。

完了 (吹付け作業で熟練すれば上記を 1 日間の作業で完了します)

インターバルフリーでも指触乾燥を待つのは、吹付け中のゴミ、埃対策、吹付け中に袖やホース、カップがあたった場合の対策、ダレリスクの軽減等です。

※弊社ホームページの吹付け動画ご参照下さい。

※弊社ホームページのブログご参照下さい。

② バスピュアコート (主剤 8/硬化剤 2 割合の 2 液性) 作業難易度：初級～中級。

バスタブ塗装の 1 回の塗り量は 400 g 程度ですので計量器で主剤 320 g、硬化剤 80 g、シンナー 60 g 程度(調整要)を小分け混合し、1 分間程度攪拌してから塗装に移って下さい。

特徴：(2 液型アクリル変性ウレタン塗料)

長所：鉛筆硬度 2H 程度の硬度があり耐摩耗性に優れます。

刷毛塗り、ローラー作業性に優れ美しい仕上がりです。耐水性に優れます。

耐退色性に優れ、長期に渡り艶引けがありません。

付着性に優れ長期にわたり塗膜の剥がれがありません。(充分な前処理は必要)

指触速乾性 (10 分程度) の為、塗装後のゴミ、埃等の影響を受けにくい作業性の良さが有ります。

2 液性塗料の中では半硬化が大変早い塗料で研磨作業等へ移れる時間が早いです。

泡噛みが少なく特に刷毛塗り(ローラー)作業性に優れます。

※ローラーの場合、抜け毛の少ないウレタン、シリコン対応の強溶剤用。中毛のスモールローラー、4 号が大変作業性良く綺麗に仕上がります。(弊社ブログでご照会中です) 手刷毛では柔らかいナイロン毛 (溶剤対応) 3～7 cm 幅が推奨です。

※弊社ホームページの刷毛塗り動画ご参照下さい。

※弊社ホームページのブログもご参照下さい。

短所：速乾性の為、

→塗料溜まり箇所や特に厚く付いた箇所では表面皮張り現象により極端に硬化が遅くなります。

→吹き付け塗装ではミストカブリによるざらつきや艶引けが発生する場合があります。

仕上げ後のポリッシャー処理が必要となる場合が多いです。

→プラスチック素地や前処理が不十分な場合、重ね塗りに時にチヂミが発生する場合があります。

施工要領ご参考：<http://www.314ki.com/?cn=100027> (弊社ブログ)

※強溶剤型塗料の為、防毒・臭気・火器に対する安全管理が必要となります。

ヒビや欠けの無い状態で本作業にあたってください。

パイロキープ TS2000 及びバスピュアコート (速乾型) の刷毛塗り作業で用意するもの・・・バス内面塗装

・ポリバス手掛けの場合 100～300 番程度のサンドペーパー (業者様は 200～600 番程度の中目ペーパーを電動工具使用で目粗されています) ※ホーロー・ステンレスの硬質浴槽には #40 番程度の極粗目を使用。一般に目粗の深さに密着度は比例します。

※ホーローバスにはホーローベースコート JW 白 1kg/セット (専用シンナー付属) が必要です。

※ステンレスバスにはステンレスベースコート白 1kg/セット (専用シンナー付属) が必要です。

- ・清掃用のかわいた清潔なウエスでシンナー脱脂→脱脂清掃はウエスを交換し必ず 2 度拭き。
- ・ピンセット (ゴミの付着や刷毛の毛が抜けた場合、速やかにピンセット等で取り除く)
- ・塗料攪拌用容器・マスキングテープ
- ・小分け軽量用の料理電子計り (推奨)、軽量用メモリ付きカップ等
- ・前処理として穴埋めが必要な場合はエポキシパテをご使用下さい。(詳細は施工要領書、弊社ブログを参照)
- ・ホームセンター購入では素地に適応の 2 剤型のエポキシパテを購入して下さい。

※溶剤塗料につき、屋内・密閉状態での塗装では換気を充分考慮し、溶剤中毒事故・火災事故等の無い様、厳重に気をつけて下さい。施工管理、安全管理につきましては自己責任でお願い致します。

- ・基本は 2 回塗りなので 1 日目に 1 回目を塗り翌日に 2 回目を塗ると DIY では無難です。 基本 6 時間以上 (20℃ 以上) インターバルを開けペーパー研磨可能の硬化を待ち重ね塗りして下さい。  
1 回塗り仕上げでは塗膜強度不足、耐水性不足の為、早期剥離の原因となります。
- ・塗料は一度に極端に厚付けしないよう注意してください。  
※垂れや斑(ムラ)の原因となり、必要以上の厚塗りは硬化遅くなります。
- ・塗料の主剤は容器の下側に成分が沈殿している場合があります。 開封前に十分に攪拌してください。
- ・主剤と硬化剤は使う分量のみ、使用する直前に混ぜてください。(最大 1 時間程度で使用出来る量を混合して下さい) 混合した液は再使用出来ませんので廃棄して下さい。
- ・主剤と硬化剤はしっかり攪拌してください。
- ・一般に 5～15% 程度専用シンナーで希釈します。入れすぎると膜厚が不十分となります。  
手塗施工では刷毛通りが良く綺麗にレベリングして刷毛目 (ローラー目) の残らない調整希釈をして下さい。
- ・過湿状態での塗装 (85% 以上) は避けて下さい (艶感が減少する場合があります)
- ・5℃ 以上の環境温度が確保されている事を確認して下さい。  
気温の低い時期は塗料の硬化が遅くなります。施工日数は十分余裕を持って計画してください。

※パイロキープ塗装で 10℃以下の環境で施工される場合や業者様施工で塗り重ねインターバルを早める場合は硬化促進剤の使用もご検討下さい。(業者様施工ではバスピュアコートにも使用される場合もあります)

・**硬化促進剤を入れる場合は塗料の重量に対して1~2%程度の微量です。**必ず計量器やスポイドを使い正確に添加して下さい。又、硬化促進剤を入れると可使時間が短くなります。15分~30分程度で使いきれの量を混合して下さい。多目に添加した場合は急速にゲルします。

※DIYの手塗りでは硬化促進剤は使用しないで極力速やかな手際良い施工がレベリング良く綺麗です。

工程：

※特に気温の低い時期は硬化時間に余裕をみてください。

1. 塗装する浴槽はあらかじめ中性洗剤で洗って乾かしておきます。(ドライヤーでのドレン周りの乾燥要)
2. サンドペーパーで浴槽の表面をまんべんなく目粗します。この作業が不十分の場合、密着不良が起きます。
3. 専用シンナーやウレタンシンナーで表面脱脂清掃を行います。ウエスを交換し、必ず2回行います。

※密着不良が早期に起こる原因の大半は脱脂不足が大半です。

表面脱脂清掃の後、すぐに塗装作業に移ります。(ほこり、ウエスの毛等残りご注意ください)

4. 塗料の主剤と硬化剤を計量し、泡立てないように1分程度攪拌する。**計量、混合して下さい。主剤と硬化剤の混合比率は厳守。**

(混合比率はパイロキープ TS2000 カラーが主剤7：硬化剤3 / バスピュアコートが主剤4：硬化剤1)

5. 刷毛ムラ(ローラー目)出ないように丁寧に塗ってください。(一度に塗料を厚く付けすぎないように注意)  
(刷毛塗りでは縦横縦で仕上げ、ローラー塗りでは下から上で仕上げると綺麗です)

※このとき塗料がはじくようなら無理に塗装を続けず、再脱脂し3.の工程からもう一度やり直して下さい。

6. 刷毛やローラーは綺麗にシンナー洗浄後でも仕上がりが悪くなりブツの発生原因ともなりますので仕上げ塗りでは新しい物を使用して下さい。(推奨)
7. 翌日は4からの作業で2回目を塗ります。
8. シリコンシーリングの上には付着しません。避けて塗装するか変性シリコンを打ち直しするか除去して塗装後にシリコンシーリングを後打ちするか等のご検討要です。

※浴槽の使用は最後の塗り終わりから48時間(実用硬化)の養生時間を確保して下さい。(推奨)

※バスタブの塗装作業は、刷毛塗りでも吹き付けでも難易度の高い作業です。

施工や安全管理は自己責任にて行っていただくようお願いしております。

本剤は半製品であり、ご自身での施工による仕上がりや剥離に関する苦情は受けかねますのでご容赦願います。

浴槽浴室塗装用(塗料荷姿)

パイロキープ TS2000 (カラー及びクリアー)	4kg/セット、2kg/セット、1kg/セット (1kgセットは彩色バスタブ標準色のみ) その他テスト用お試しセット 100gセット白(有償)
パイロキープ専用シンナー 硬化促進剤	4L/缶、1L/缶、その他セット付属の小分け小缶 80g/ビン又は缶 200g/缶

バスピュアコート (カラー及びクリアー)	4kg/セット、2kg/セット、1kg/セット (1kgセット、2kgセットは彩色バスタブ標準色のみ) その他テスト用お試しセット 100gセット白(有償)
-------------------------	---

バスピュアコート専用シンナー	1L/缶、その他セット付属小分け小缶
ホーローベースコート JW白	1kg/セット(専用シンナー付属)
ホーロー錆転換剤シルバー	100gポリ容器(水性)
ステンレスベースコート白	1kg/セット(専用シンナー付属)現在長期耐熱・耐水テスト中です。

専用シンナーはウレタンシンナーでの代用も可能です。  
※パイロキープでは2kgセット以上、バスピュアコートでは4kgセット以上では日塗工色調色可能。

